

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO iDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2024年第16週
(4月15日～4月21日)

- * 2024年4月24日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「多剤耐性肺結核と新規抗結核薬」も掲載しています。

令和6年(2024年)4月25日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213 (直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：tmiph@section.metro.tokyo.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2024年16週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		13週	14週	15週	16週	年累計	16週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	50	37	46	47	601	264	4,302
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
鳥インフルエンザ(H7N9)								
三類	コレラ							
	細菌性赤痢			1		3	4	18
	腸管出血性大腸菌感染症	3		5	3	39	39	406
	腸チフス				1	2		10
	パラチフス		1			2		2
四類	E型肝炎	1	2	4	2	43	7	162
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1			4	5	33
	エキノコックス症							2
	エムボックス			1		10		12
	黄熱							
	オウム病							
	オムスク出血熱							
	回帰熱							1
	キャサヌル森林病							
	Q熱							6
	狂犬病							
	コクシジオイデス症				1	1	1	1
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*3}						7	20
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							
つつが虫病						1	61	
デング熱	2	1			14		47	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		13週	14週	15週	16週	年累計	16週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						3	10
	日本脳炎							1
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア			1		2		10
	野兔病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	2	4	6		40	21	495
レプトスピラ症							1	
ロッキー山紅斑熱								
2024/4/24集計								

(全数把握対象疾患のコメント:一類～五類)

〈二類感染症〉

結核 47件 患者 27件(肺結核 16件、その他の結核 9件、肺結核及びその他の結核 2件)、無症状病原体保有者 20件、年齢は5歳未満 1件、20代 8件、30代 6件、40代 4件、50代 6件、60代 2件、70代 7件、80代 9件、90歳以上 4件、推定感染地は国内 24件、フィリピン 3件、インドネシア 2件、国内又はパキスタン 1件、不明 17件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 3件 患者 1件、無症状病原体保有者 2件、血清型・毒素型はO128 VT1・VT2 1件、O157 VT1・VT2 1件、血清型不明 VT2 1件、年齢は5歳未満 1件、20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 2件、不明 1件、推定感染経路は不明 3件であった。

腸チフス 1件 患者、年齢は5歳未満、推定感染地はパキスタン、推定感染経路は不明であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 2件 患者 1件、無症状病原体保有者 1件、年齢は50代 2件、推定感染地は国内 1件、不明 1件、推定感染経路は経口感染 1件、不明 1件であった。

コクシジオイデス症 1件 患者、年齢は50代、推定感染地は米国、推定感染経路は塵埃感染であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 病型は腸管 2件、年齢は20代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 1件、不明 1件、推定感染経路は不明 2件であった。

ウイルス性肝炎 2件 病型はB型 2件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は異性間性的接触 1件、不明 1件、B型肝炎ワクチン接種歴は接種なし 1件、不明 1件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 2件 病原菌は*Enterobacter cloacae* complex 1件、*Citrobacter braakii* 1件、年齢は40代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 1件、不明 1件、推定感染経路は以前からの保菌 1件、手術部位感染 1件であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2024年16週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		13週	14週	15週	16週	年累計	16週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	1	1	1	2	36	11	161
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	2	2	1	2	14	6	60
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5	1	2	2	52	38	559
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) *1			1		2	1	10
	急性脳炎 *2			2		14	2	195
	クリプトスポリジウム症		1			3		8
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1			7	1	54
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	11	4	5	114	35	730
	後天性免疫不全症候群	3	7	6	3	83	11	282
	ジアルジア症			1		5		15
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	1	3	16	11	201
	侵襲性髄膜炎菌感染症					1	2	13
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	5	8	3	93	30	815
	水痘(入院例に限る)	4	2		1	20	7	135
	先天性風しん症候群							
	梅毒	58	63	69	71	1,003	185	3,904
	播種性クリプトコックス症		2			8	2	69
	破傷風							17
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					1		37
百日咳	3	1	1	1	19	14	216	
風しん							3	
麻しん					6		21	
薬剤耐性アシネトバクター感染症								

2024/4/24集計

*1 2018年5月1日より追加指定された。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 5件(うち死亡 1件) 血清群はA群 4件、G群 1件、年齢は30代 1件、50代 1件、70代 1件、80代 2件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は創傷感染 2件、不明 3件であった。

後天性免疫不全症候群 3件 病型はAIDS 3件、性別は男性 2件、女性 1件、年齢は30代 1件、40代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、中国 1件、推定感染経路は性的接触 2件(同性間1件、異性間1件)、輸血・血液製剤 1件であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 3件 血清型は未実施 3件、年齢は60代 2件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染又は接触感染 1件、不明 2件、ヒブワクチン接種歴は不明 3件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 3件 血清型は未実施 3件、年齢は5歳未満 1件、50代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、国内又はソロモン諸島 1件、推定感染経路は不明 3件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価4回接種済み 1件、接種なし 1件、不明 1件であった。

水痘(入院例) 1件 病型は臨床診断例、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、水痘ワクチン接種歴は不明であった。

梅毒 71件 患者 51件(早期顕症梅毒Ⅰ期 26件、早期顕症梅毒Ⅱ期 23件、晩期顕症梅毒 2件)、無症候梅毒 20件、性別は男性 44件、女性 27件、年齢は10代 3件、20代 34件、30代 12件、40代 14件、50代 6件、60代 2件、推定感染地は国内 61件、不明 10件、推定感染経路は性的接触 65件(同性間 15件、異性間 45件、性別不明 5件)、不明 6件であった。

百日咳 1件 年齢は20代、推定感染地は国内、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済みであった。

※ 第15週該当分として〔五類〕急性弛緩性麻痺 1件、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件、梅毒 3件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2024年16週

上段:報告数 下段:定点当たり

定点種別	対象疾患	2024年				報告医療機関数	定点医療機関数
		13週	14週	15週	16週		
小児科	RSウイルス感染症	190 0.73	243 0.92	425 1.62	540 2.05	263	264
	咽頭結膜熱	51 0.19	53 0.20	69 0.26	68 0.26		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	739 2.82	665 2.53	751 2.86	932 3.54		
	感染性胃腸炎	1,109 4.23	1,010 3.84	1,031 3.92	1,183 4.50		
	水痘	49 0.19	41 0.16	49 0.19	34 0.13		
	手足口病	16 0.06	25 0.10	11 0.04	22 0.08		
	伝染性紅斑	23 0.09	19 0.07	23 0.09	50 0.19		
	突発性発しん	51 0.19	62 0.24	79 0.30	90 0.34		
	ヘルパンギーナ	5 0.02	3 0.01	4 0.02	3 0.01		
	流行性耳下腺炎	9 0.03	15 0.06	11 0.04	18 0.07		
	川崎病 ^{*1}	2 0.01	4 0.02	7 0.03	2 0.01		
	不明発しん症 ^{*1}	3 0.01	9 0.03	9 0.03	5 0.02		
	インフルエンザ/COVID-19	インフルエンザ ^{*2}	3,903 9.40	1,744 4.17	819 1.96		
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		1,446 3.48	1,145 2.74	1,010 2.42	1,159 2.77		
眼科	急性出血性結膜炎				2 0.05	39	39
	流行性角結膜炎	11 0.28	26 0.67	26 0.67	32 0.82		
基幹	細菌性髄膜炎 ^{*3}	1 0.04			2 0.08	25	25
	無菌性髄膜炎						
	マイコプラズマ肺炎	2 0.08		2 0.08	2 0.08		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) ^{*4}			1 0.04			
	インフルエンザ入院	19 0.76	11 0.44	6 0.24	9 0.36		
	COVID-19入院	120 4.80	92 3.68	94 3.76	76 3.04		

2024/4/24集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は、1.21で前週より減少しています。
- ・ RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、2.05で増加傾向です。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、3.54で増加傾向です。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2024年16週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
～5か月	37			6				2				
6～11か月	107	1	6	78		1		18	1			
1歳	211	10	28	147	1	8	2	51			1	4
2歳	100	10	61	103	1	3	5	12	1		1	
3歳	39	6	87	90	1	2	3	4	1	1		
4歳	23	18	102	110	3	2	13	1		1		1
5歳	11	7	100	86	2	1	9	1		6		
6歳	2	3	116	94	5	1	5			1		
7歳	1	3	97	63	1	2	6	1		2		
8歳	4	3	92	77	4	1	2			4		
9歳	1	2	71	73	3		3					
10～14歳	2		91	126	11	1	2			1		
15～19歳	1		16	25	2					2		
20～29歳	1	5	65	105								
30～39歳												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳												
80歳以上												
合計	540	68	932	1,183	34	22	50	90	3	18	2	5
先週比	115	-1	181	152	-15	11	27	11	-1	7	-5	-4

注: 小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹						
	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ入院	COVID-19入院
～5か月	1	20									1
6～11か月	4	28									2
1歳	14	37									2
2歳	23	15					1				
3歳	22	25		1							
4歳	25	12									
5歳	35	7		1							
6歳	29	20					1				
7歳	46	8							1		
8歳	30	10							1		2
9歳	26	16									
10～14歳	73	89							1		2
15～19歳	49	113		1					1		1
20～29歳	28	122		3					1		2
30～39歳	41	115	1	9							1
40～49歳	28	139	1	4							1
50～59歳	22	158		4							4
60～69歳	4	89		6	1						6
70～79歳	3	79		3					1		28
80歳以上	1	57			1				3		24
合計	504	1,159	2	32	2		2			9	76
先週比	-315	149	2	6	2				-1	3	-18

注: 小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2024年16週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
千代田	0.33		1.33	2.67			0.67	0.33				
中央区			2.00	4.67		0.33						
みなと	1.83		3.67	1.17		0.33	0.17	0.50		0.17		
新宿区	2.63	0.13	3.63	1.75		0.25	0.13	0.25				
文京	0.50		4.25	2.50				0.75				
台東	1.75	0.25	8.25	9.00	0.50	0.25	0.75	0.25				
墨田区	2.00		2.00	1.00				0.40				
江東区	2.22	0.33	4.00	6.89	0.11	0.33	0.11	0.56		0.22		
品川区	1.25	0.25	1.88	4.88	0.13				0.13	0.13		
目黒区	2.00	0.20	1.80	2.60	0.20	0.20	0.40	0.20				
大田区	3.54	0.69	2.38	6.38	0.31		0.08	0.38		0.23		
世田谷	2.19	0.19	1.81	5.88	0.31	0.13	1.00	0.06			0.06	0.13
渋谷区	1.00	0.50	1.50	2.75				0.25				
中野区	1.33	0.17	5.83	5.67	0.50	0.17		0.50				
杉並	1.45	0.55	1.18	3.00	0.09			0.27				
池袋	4.20	0.40	2.40	4.00							0.20	0.20
北区	1.29	0.57	5.14	5.29		0.14		0.57				
荒川区	8.00	0.50	6.00	5.75	0.50			1.00				
板橋区	1.80		4.50	1.80			0.50	0.30				
練馬区	2.31	0.15	4.54	3.08		0.15		0.31	0.08			0.08
足立	3.42	0.83	1.58	6.42		0.08	0.25	0.58		0.08		
葛飾区	0.50		3.00	3.75	0.50		0.13					
江戸川	3.50	0.17	2.83	3.67	0.17	0.25		0.08		0.17		
八王子市	3.45	0.27	4.64	9.82				0.45		0.18		
町田市	0.50		6.50	7.38			0.13	0.63		0.13		
西多摩		0.13	1.38	3.38	0.25			0.25				
南多摩	0.78		3.00	3.67	0.11	0.11		0.33		0.11		
多摩立川	1.43	0.14	4.43	2.50				0.29		0.21		
多摩府中	1.86	0.19	4.38	4.52	0.10	0.05	0.62	0.29	0.05			0.05
多摩小平	2.27	0.47	5.60	4.93	0.20			0.67		0.07		
島しょ			5.00					1.00				
東京都	2.05	0.26	3.54	4.50	0.13	0.08	0.19	0.34	0.01	0.07	0.01	0.02

	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹						
	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院	COVID-19入院
千代田	0.25	3.00									
中央区	0.80	1.40		1.00							
みなと	1.00	2.56								1.00	4.00
新宿区	0.83	2.67		2.00							1.00
文京	0.86	4.00									3.00
台東	1.29	2.29									
墨田区	1.50	4.75			1.00					1.00	6.00
江東区	1.43	2.14									
品川区	0.58	2.67		1.00							
目黒区	0.50	2.63									
大田区	0.86	3.19									1.00
世田谷	1.44	2.64	0.50	4.00							4.00
渋谷区	0.71	1.14		4.00						1.00	1.00
中野区	1.90	3.40									
杉並	1.18	2.29		1.00						2.00	2.50
池袋	3.00	2.75		2.00							
北区	2.91	2.64									
荒川区	3.14	2.71		1.00							
板橋区	0.81	1.63		1.50			1.00				3.00
練馬区	1.62	3.05									
足立	0.63	2.53									
葛飾区	0.85	2.46	1.00								3.00
江戸川	0.89	3.21									
八王子市	1.06	1.94		0.50							8.00
町田市	0.85	2.15		3.00							
西多摩	0.57	2.57									5.00
南多摩	0.71	2.57									
多摩立川	1.33	3.43									1.00
多摩府中	1.67	2.85		0.67	0.33					0.67	4.00
多摩小平	1.22	4.43		0.50			0.50				7.00
島しょ		1.00									
東京都	1.21	2.77	0.05	0.82	0.08		0.08			0.36	3.04

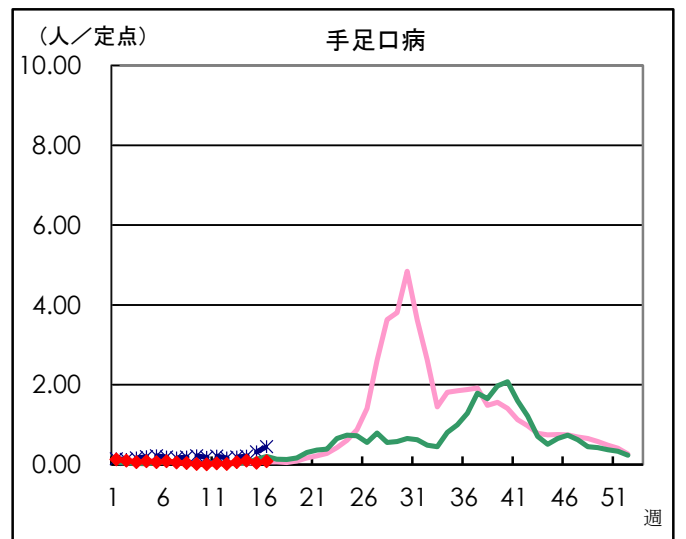
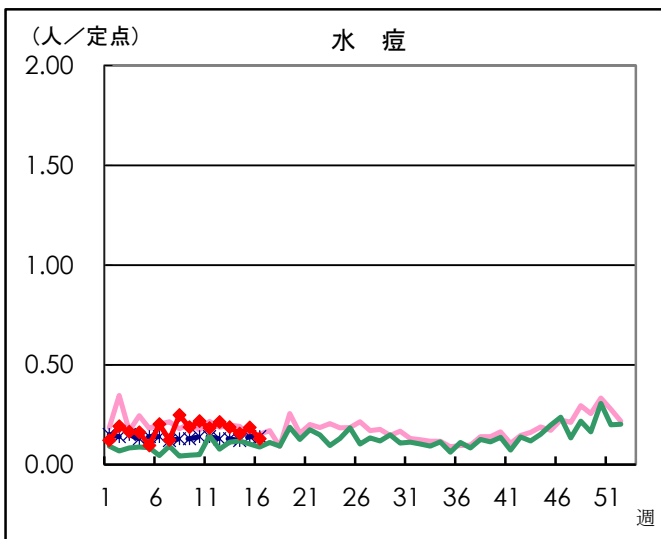
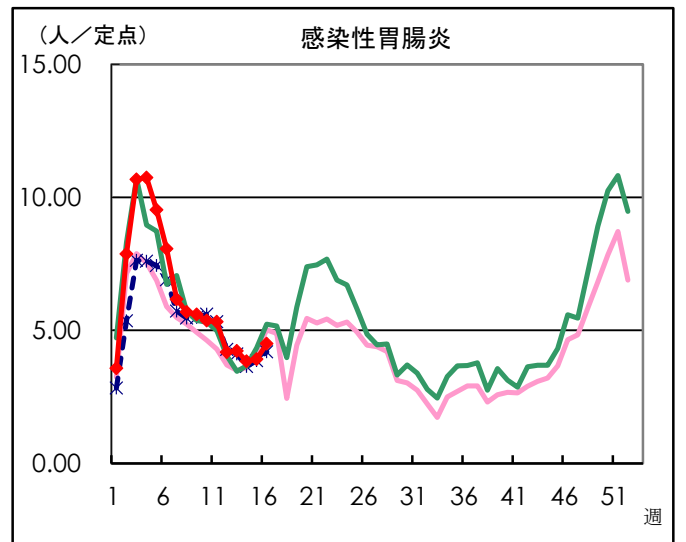
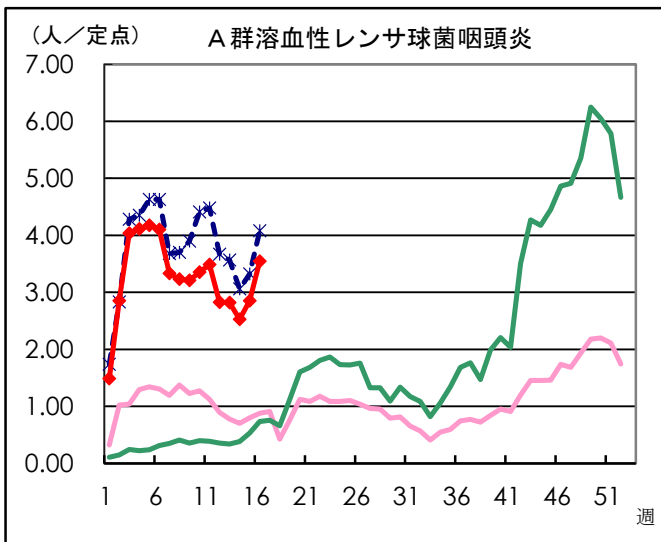
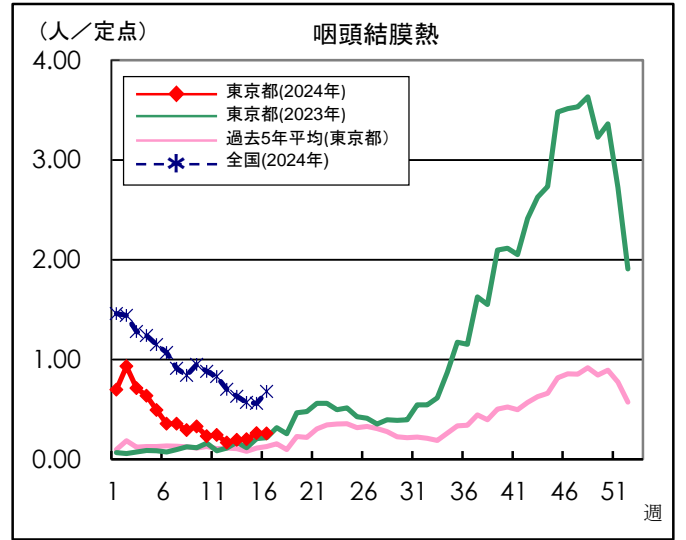
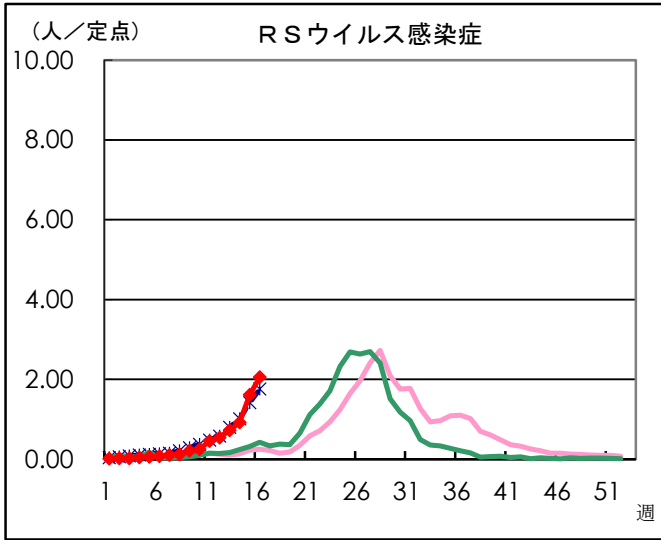
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2024年16週

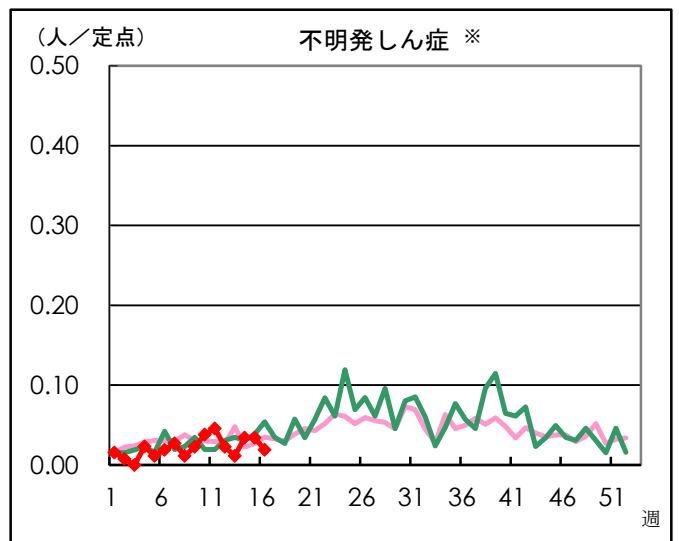
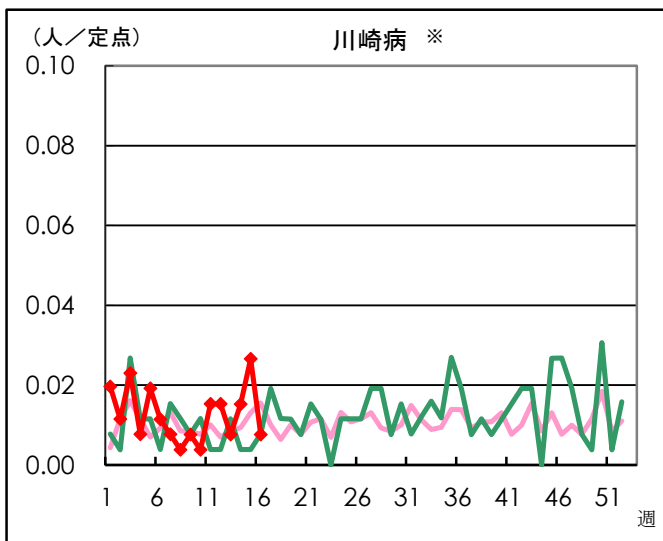
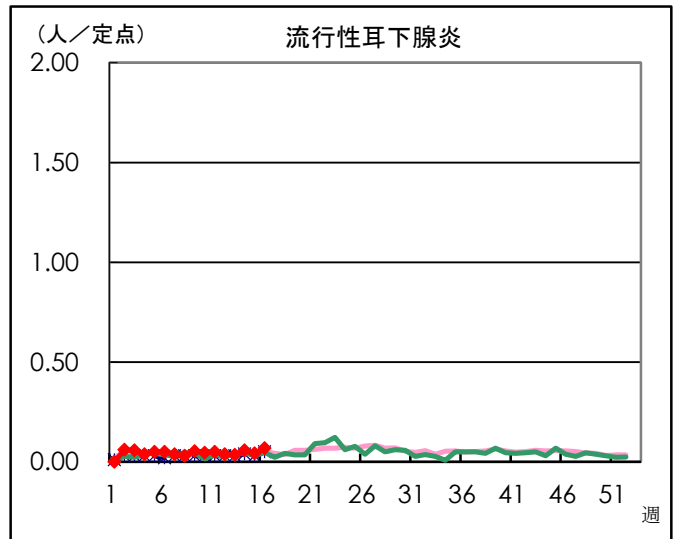
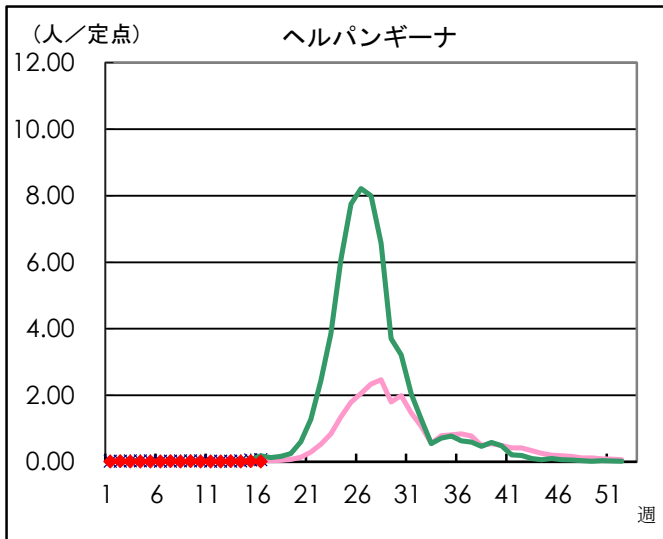
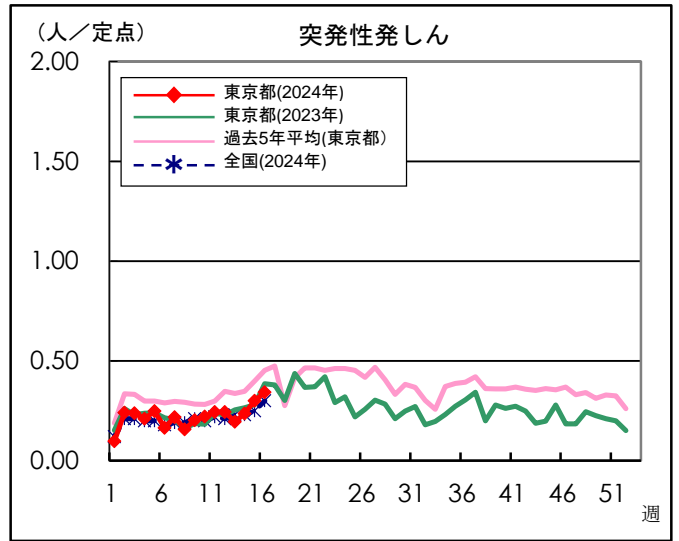
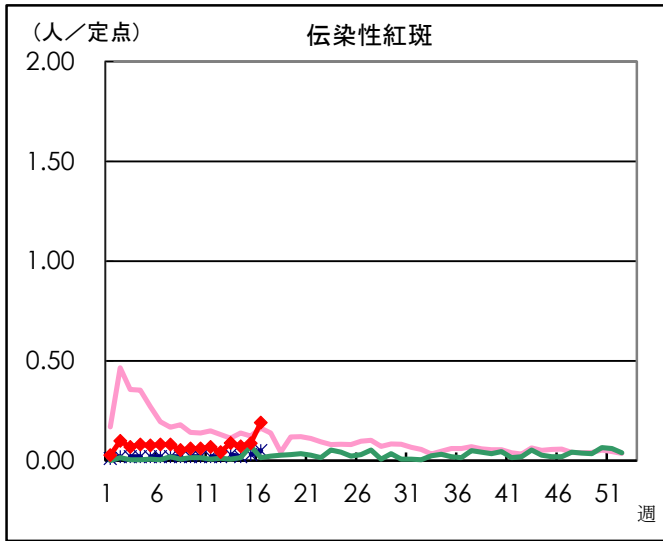
	小児科											
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症
千代田	1		4	8			2	1				
中央区			6	14		1						
みなと	11		22	7		2	1	3		1		
新宿区	21	1	29	14		2	1	2				
文京	2		17	10				3				
台東	7	1	33	36	2	1	3	1				
墨田区	10		10	5				2				
江東区	20	3	36	62	1	3	1	5		2		
品川区	10	2	15	39	1				1	1		
目黒区	10	1	9	13	1	1	2	1				
大田区	46	9	31	83	4		1	5		3		
世田谷	35	3	29	94	5	2	16	1			1	2
渋谷区	4	2	6	11				1				
中野区	8	1	35	34	3	1		3				
杉並	16	6	13	33	1			3				
池袋	21	2	12	20							1	1
北区	9	4	36	37		1		4				
荒川区	32	2	24	23	2			4				
板橋区	18		45	18			5	3				
練馬区	30	2	59	40		2		4	1			1
足立	41	10	19	77		1	3	7		1		
葛飾区	4		24	30	4		1					
江戸川	42	2	34	44	2	3		1		2		
八王子市	38	3	51	108				5		2		
町田市	4		52	59			1	5		1		
西多摩		1	11	27	2			2				
南多摩	7		27	33	1	1		3		1		
多摩立川	20	2	62	35				4		3		
多摩府中	39	4	92	95	2	1	13	6	1			1
多摩小平	34	7	84	74	3			10		1		
島しょ			5					1				
東京都合計	540	68	932	1,183	34	22	50	90	3	18	2	5

	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
千代田	1	12									
中央区	4	7		1							
みなと	9	23								1	4
新宿区	10	32		4							2
文京	6	28									3
台東	9	16									
墨田区	12	38			1					1	6
江東区	20	30									
品川区	7	32		1							
目黒区	4	21									
大田区	18	67									1
世田谷	36	66	1	8							8
渋谷区	5	8		4						1	1
中野区	19	34									
杉並	20	39		1						4	5
池袋	24	22		2							
北区	32	29									
荒川区	22	19		1							
板橋区	13	26		3			1				3
練馬区	34	64									
足立	12	48									
葛飾区	11	32	1								3
江戸川	17	61									
八王子市	19	35		1							8
町田市	11	28		3							
西多摩	8	36									5
南多摩	10	36									
多摩立川	28	72									1
多摩府中	55	94		2	1					2	12
多摩小平	28	102		1			1				14
島しょ		2									
東京都合計	504	1,159	2	32	2		2			9	76

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2024年16週 現在)

◆小児科定点

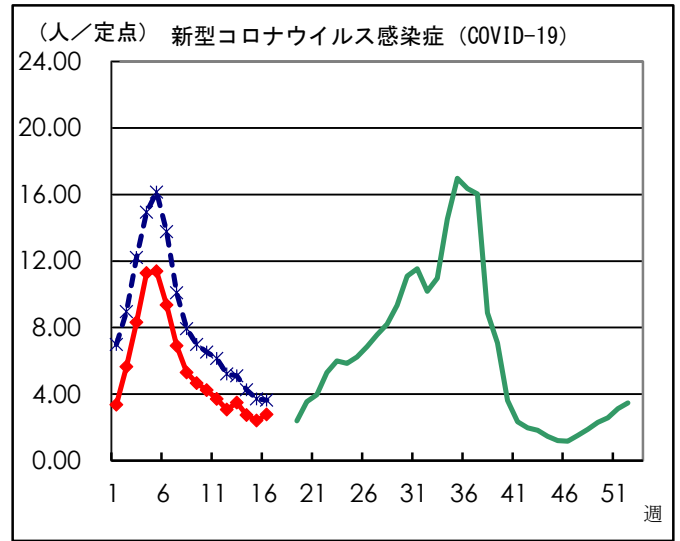
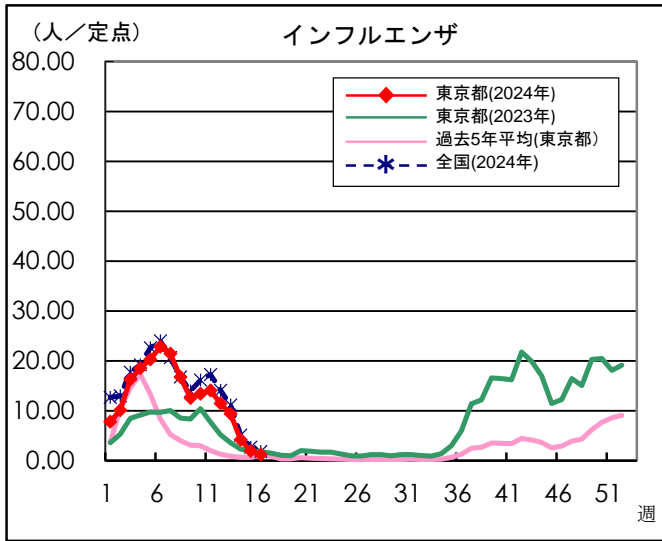




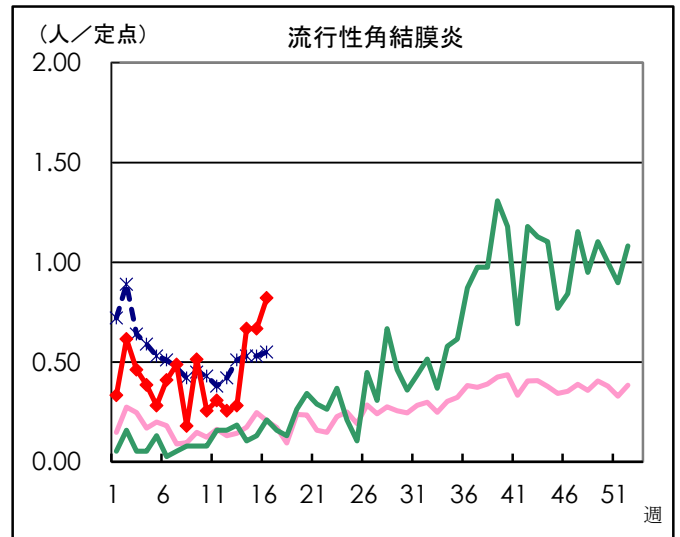
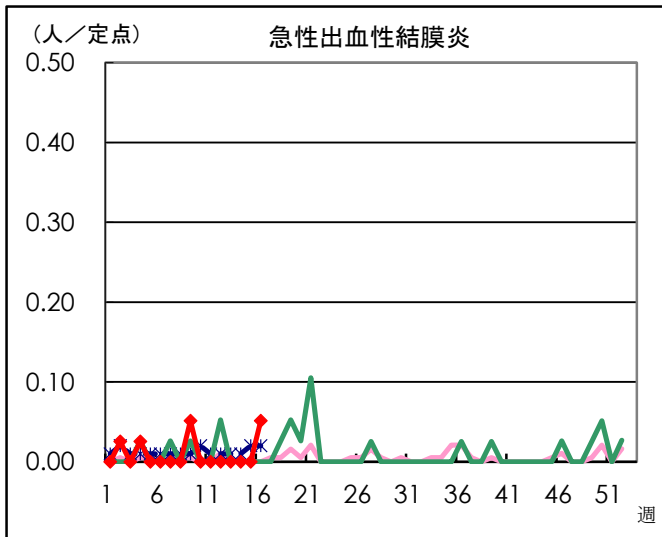
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

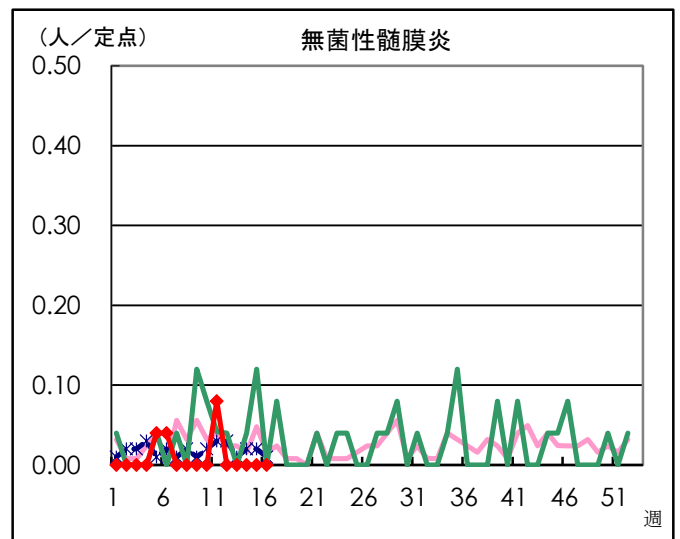
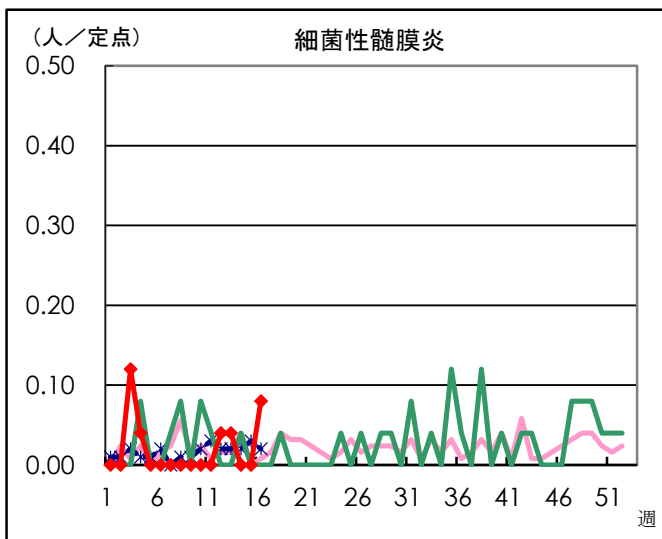
◆インフルエンザ/COVID-19定点



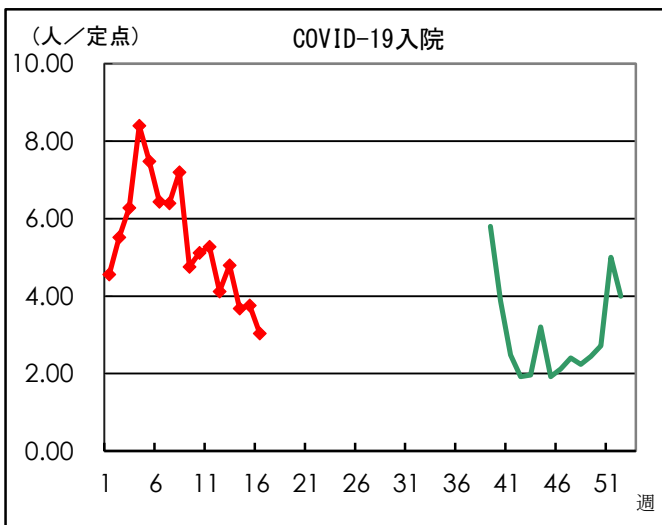
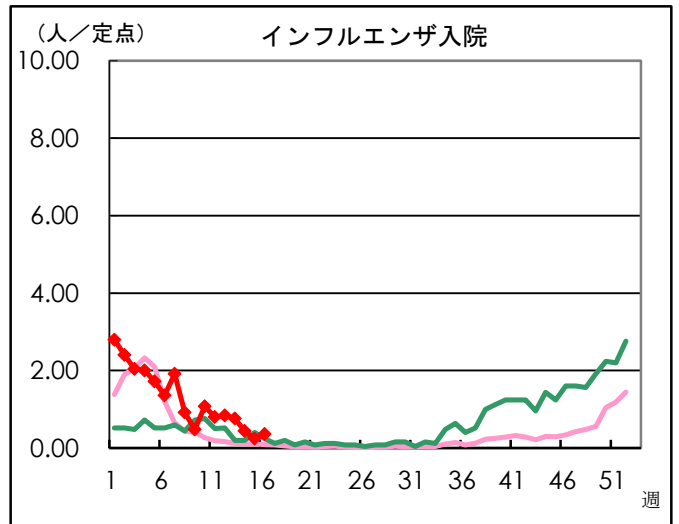
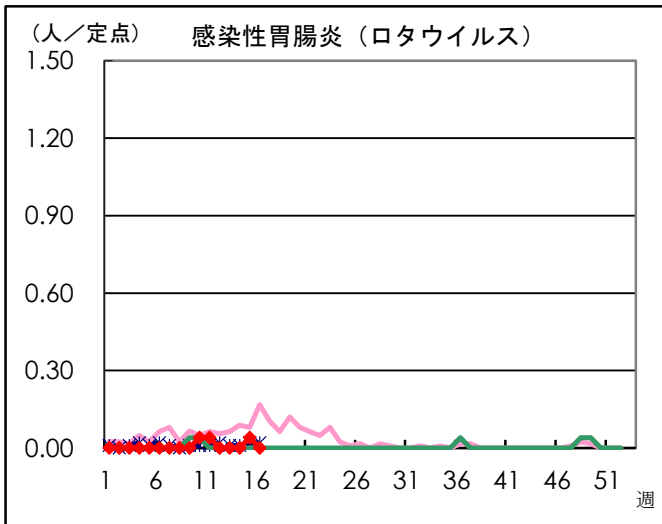
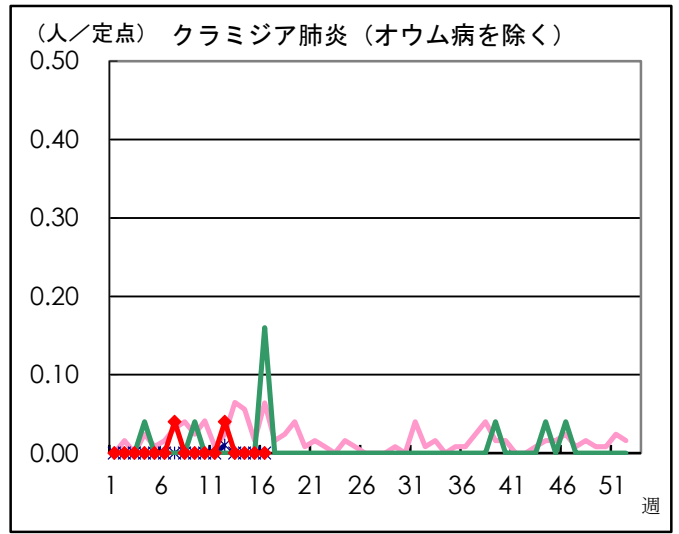
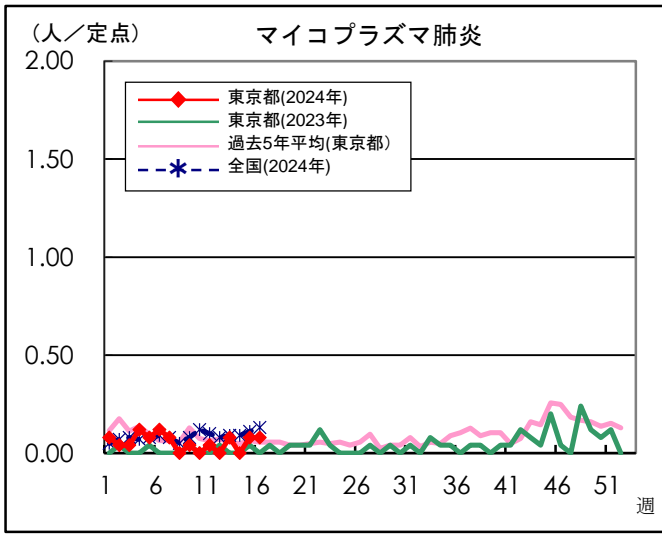
◆眼科定点



◆基幹定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
3/29	インフルエンザ	6	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3亜型※ ライノウイルス
3/30	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-1型

※ 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2024年14週		2	6	
2023-2024年 シーズン累計*	109	181	126	

* 2023-2024年シーズンの開始は第36週(2023年9月4日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2024年							
	07週	08週	09週	10週	11週	12週	13週	14週
アデノウイルス				1	2		1	
コクサッキーウイルスA群								
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
ライノウイルス	2		2		1	1	1	1
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型				1				
EBウイルス							1	
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス							1	
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風疹ウイルス								
風疹1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19								
RSウイルス							1	
ノロウイルス								
ロタウイルス		1						
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1pdm09		1		1	1		2	
インフルエンザウイルスAH3亜型	1			1		2		2
インフルエンザウイルスB型Victoria系統	15	10	16	7	10	5	12	6
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
SARS-CoV-2		1	1	2	1			
その他のウイルス								
A群溶血性レンサ球菌T-1型	1	2	1	2	1			1
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型			1		2	1		
A群溶血性レンサ球菌T-12型	1	1				1		
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型	1							
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能			1				1	
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報 【臨床診断名別】

2024年07週～2024年14週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	2	3	22	1			1	1	1	1		5	85	19	1	12		4		
アデノウイルス		2														2				
コクサッキーウイルスA群																				
コクサッキーウイルスB群																				
エコーウイルス																				
エンテロウイルス71																				
その他のエンテロウイルス																				
ライノウイルス												1	4	3						
ヒトメタニューモウイルス																				
単純ヘルペスウイルス																				
水痘・帯状疱疹ウイルス																				
ヒトヘルペスウイルス6型・7型												1								
EBウイルス									1											
サイトメガロウイルス																				
ムンプスウイルス									1											
麻しんウイルス																				
麻しんA型(ワクチンタイプ)																				
風しんウイルス																				
風しん1a型(ワクチンタイプ)																				
ヒトパルボウイルスB19																				
RSウイルス	1																			
ノロウイルス																				
ロタウイルス				1																
サボウイルス																				
インフルエンザウイルスAH1pdm09													5							
インフルエンザウイルスAH3亜型													6							
インフルエンザウイルスB型Victoria系統													74	7						
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																				
SARS-CoV-2													1	4						
その他のウイルス																				
A群溶血性レンサ球菌T-1型			8																	
A群溶血性レンサ球菌T-3型																				
A群溶血性レンサ球菌T-4型			4																	
A群溶血性レンサ球菌T-12型			3																	
A群溶血性レンサ球菌T-25型																				
A群溶血性レンサ球菌T-28型																				
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			1																	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																				
A群溶血性レンサ球菌T型別不能			2																	
百日咳菌																				
肺炎マイコプラズマ																				
肺炎クラミジア																				
髄膜炎菌																				
B群レンサ球菌																				
肺炎球菌																				
インフルエンザ菌																				
黄色ブドウ球菌																				
大腸菌																				
その他の細菌																				
その他の病原体																				

<感染症豆知識>

多剤耐性肺結核と新規抗結核薬

結核治療でキードラッグとされるリファンピシン（RFP）とイソニアジド（INH）がともに耐性化した結核症を多剤耐性結核（MDR）と呼ぶ。肺の MDR は、その他の抗結核薬を使っても排菌が停止せず、隔離と治療のため結核病棟に入院したまま一生を終える患者も少なくなかった。

1955-1970 年代の INH とストレプトマイシン（SM）にパス（PAS）またはエタンブトール（EB）による 3 者併用療法は多くの結核患者を救ったものの、空洞のある肺結核の根治には手術を併用するのが一般的だった。それは旧来の抗結核薬が水溶性で、脂質成分からなる空洞病変内に浸透できないためだった。しかし、1975 年頃に脂溶性薬剤の RFP が登場すると空洞壁を透過して結核菌を滅菌したため、耐性のない肺結核の手術は不要となった。1980 年代以降の INH と RFP を主軸とする 4 剤治療は、世界中の結核患者に福音をもたらしたが、その陰で MDR が生まれていた。これは排菌の続いた INH 耐性肺結核に、新薬 RFP を追加投与して RFP も耐性化したためであった。

こうして既治療 MDR 患者が生まれると、更に周囲に感染させて未治療 MDR も世界中で急増したのである。米国では MDR による院内集団感染が多数発生して、死亡率も高く大きな社会問題となった。この MDR を根治させるには、数年間の内科治療と肺手術が必要とされてきた。しかし 2012 年以降に脂溶性のベダキリン（BDQ）やデラマニド（DLM）などの新規抗結核薬が登場することで、本邦でも MDR は手術せず根治可能な疾患になったのである。米国では BDQ とリネゾリド（LZD）と本邦未発売のプレトマニドの 6 カ月治療が、MDR に対する標準治療になっている。

（文責 結核予防会複十字病院安全管理特任部長 尾形英雄）